

平成 18 年 5 月 6 日

全校生徒・保護者の皆様へ

品川女子学院
校長 漆 紫穂子

創立を記念する日にあたって

「創立を記念する日」にあたって、「品川女子学院の誕生」を皆さんと振り返ってみたいと思います。

品川女子学院は 1925 年、たった一人の女性の志によって創立されました。当時は女性参政権もない時代でしたが、創立者 漆 雅子は「いつか女性が家庭の中だけでなく社会に出て働く日が来る。その日のために、社会で必要とされる力を持った女性を育てたい」という夢を持っていました。若く、お金も力もない彼女は、まず近所の女性を対象に裁縫など「手に職をつける」ための集まりを開くことから始めました。ひとり、また一人と参加者が増えていったある日、関東大震災が起こりました。そこに集まっていた女性達はその組織力によって夜を徹して炊き出しをしたり、けが人を介抱したりして、地域の復興に貢献しました。そのご褒美として町からいただいた木材やミシンをもとに、創立されたのがこの学校なのです。



▲1925年頃の校舎

この創立のエピソードを振り返るとき、私の頭にはいつも「志願無倦」という文字が浮かびます。(第2体育館の正面の額にこの言葉が書いてありますね。これは創立者の父、漆昌巖の書です)そして、「今の自分に力がなくても、どんな困難があっても、志を立て、それに向かって一心に進んでいればいつか道は拓けてくる」という思いを新たにします。

私たちの学校は、80年にわたり、創立の志願「社会で活躍する女性の育成」を貫き、先輩から後輩へと学校をバトンタッチしてきました。昨年、80周年を終え、81年目の新たなスタートをした今年、縁あって品川女子学院に集う皆さんが「能動的に人生を創り、夢を育てる」とき、きっと道は拓けてくるはずです。

創立を記念する日にあたって、品川女子学院後援会からミッションの「日本」と本校のシンボルフラワーの薔薇にちなんだ紅白の薔薇の和菓子をいただきました。北品川の老舗の手作りです。80年の歴史を想いながらお召し上がりください。

